

津軽沿岸、陸奥湾沿岸及び下北八戸沿岸の一部  
(秋田県境～大間町大間崎)  
における津波浸水想定  
説明資料

青 森 県

平成27年5月

# 津軽沿岸の概要



## 海岸の汀線地形について

外ヶ浜町根岸<sup>ねぎし</sup>～五所川原市脇元<sup>わきもと</sup>  
延長約 92km

小規模な砂浜海岸があるものの、大部分は岩礁海岸となっている。

五所川原市脇元～鰺ヶ沢町  
延長約 40km

七里長浜と呼ばれる一連の砂浜海岸となっている。

鰺ヶ沢町～秋田県境  
延長約 95km

小規模な砂浜海岸があるものの、大部分は岩礁海岸となっている。

# 陸奥湾沿岸の概要



## 海岸の汀線地形について

ほっかいみさき ねぎし  
北海岬～外ヶ浜町根岸  
延長約 255km

なつどまり  
夏泊半島や下北半島西側で岩礁海岸が見られるが、全体的には砂浜海岸が主体

# 下北八戸沿岸の概要



## 海岸の汀線地形について

ほっかいみさき おおはた  
北海岬～むつ市大畑  
延長約 96km

小規模な砂浜海岸があるものの、海岸の大部分は山地部が直接海に接する急峻な地形で岩礁海岸が卓越

むつ市大畑～八戸港  
延長約 153km

しりやざき ものみざき  
尻屋崎周辺や物見崎周辺など一部で岩礁海岸・崖海岸が見られるが、全体的には一連の砂浜海岸

八戸港～岩手県境  
延長約 58km

三陸海岸からの延長で岩礁海岸

( ) 四捨五入の関係で、合計が一致しない。

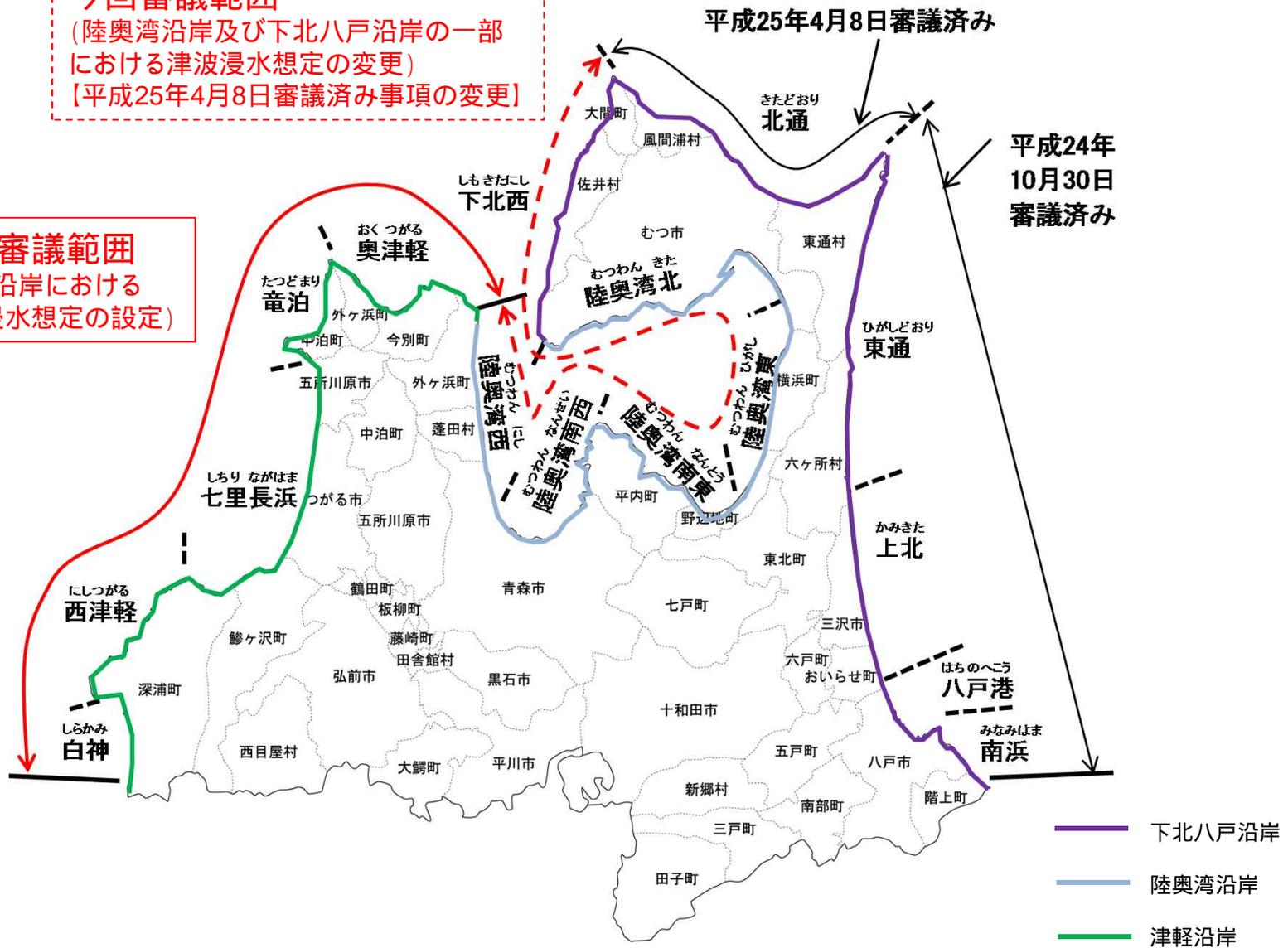
# 今回審議範囲

## 今回審議範囲

(陸奥湾沿岸及び下北八戸沿岸の一部  
における津波浸水想定の変更)  
【平成25年4月8日審議済み事項の変更】

## 今回審議範囲

(津軽沿岸における  
津波浸水想定の設定)



# 基本的な考え方

- 1) 地域海岸ごとに津波高さ（既往津波・想定津波）を整理
- 2) 下図のようなグラフを作成し、最大クラスの津波となる可能性のある対象津波群の中から、津波高さが最も大きくなると考えられるものを最大クラスの津波として選定
- 3) この津波を対象に、一定の悪条件の下、津波浸水シミュレーションを実施し、浸水域及び浸水深を算定

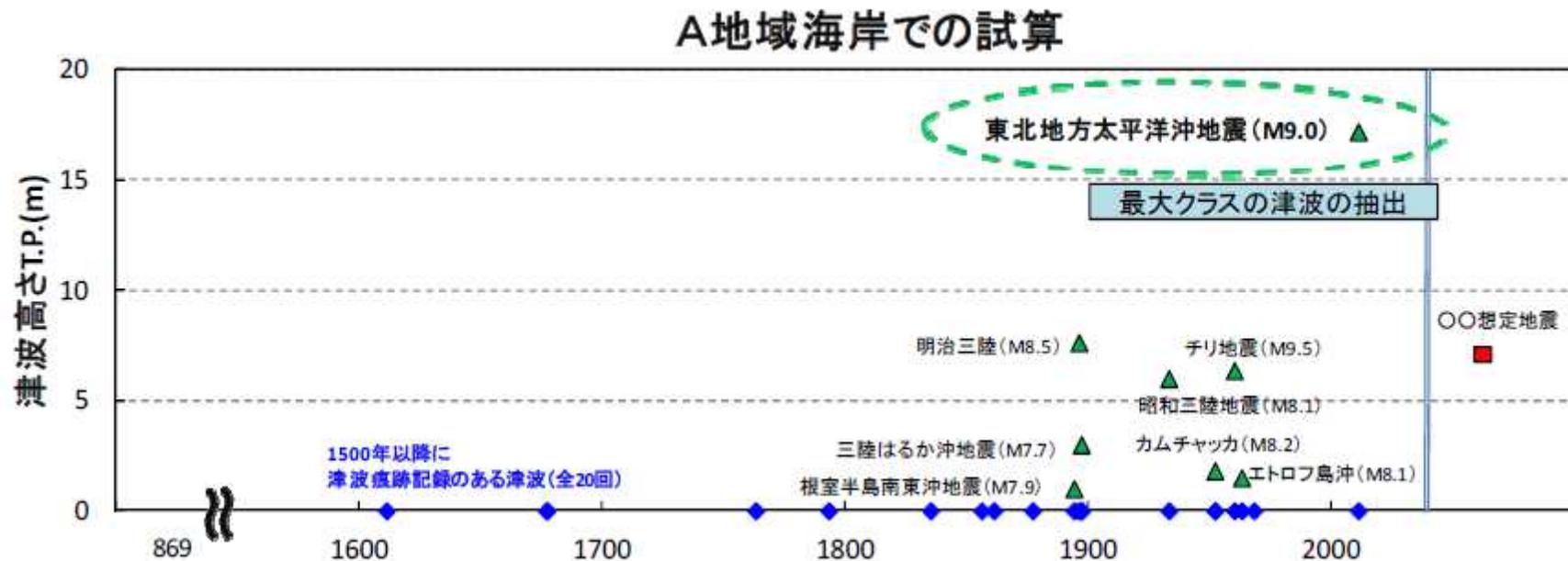
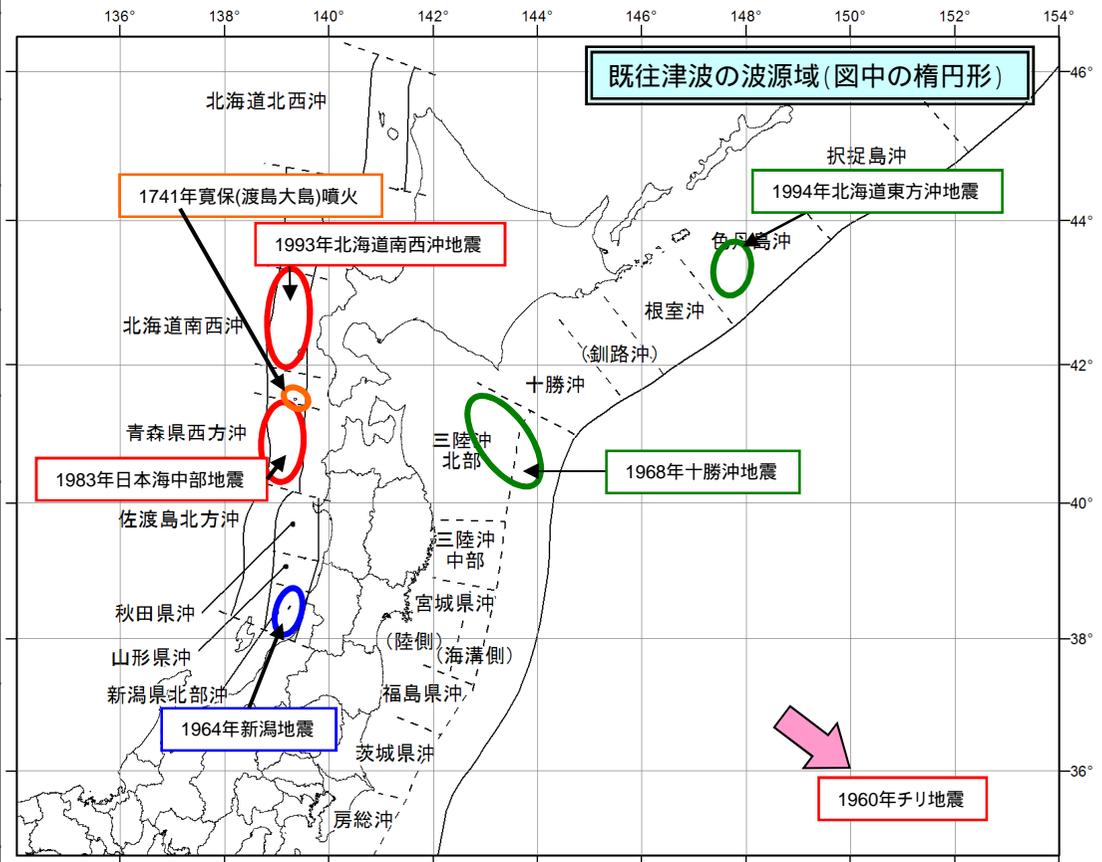


図 最大クラスの津波を選定するためのグラフ(例)

(「津波浸水想定の設定の手引き」(国土交通省水管理・国土保全局海岸室ほか、平成24年10月)より)

# 過去に津軽沿岸に襲来した記録等がある既往津波

発生年	地震名	M	痕跡高(青森県)
1741	寛保(渡島大島)噴火		7.0m(中泊) 6.0m(深浦)
1833	天保(山形沖)地震	7.5	2.0m(鰺ヶ沢) 1.0m(中泊)
1960	チリ地震	9.5	1.6m(外ヶ浜) 1.6m(鰺ヶ沢) 1.2m(中泊)
1964	新潟地震	7.6	1.8m(深浦) 0.2m(中泊)
1968	十勝沖地震	7.9	1.0m(今別) 0.1m(深浦)
1983	日本海中部地震	7.7	7.1m(五所川原) 6.7m(深浦) 5.6m(中泊) 4.2m(鰺ヶ沢) 3.1m(外ヶ浜)
1993	北海道南西沖地震	7.8	2.0m(つがる) 1.9m(中泊) 1.6m(深浦) 0.5m(今別)
1994	北海道東方沖地震	8.1	0.1m(外ヶ浜)



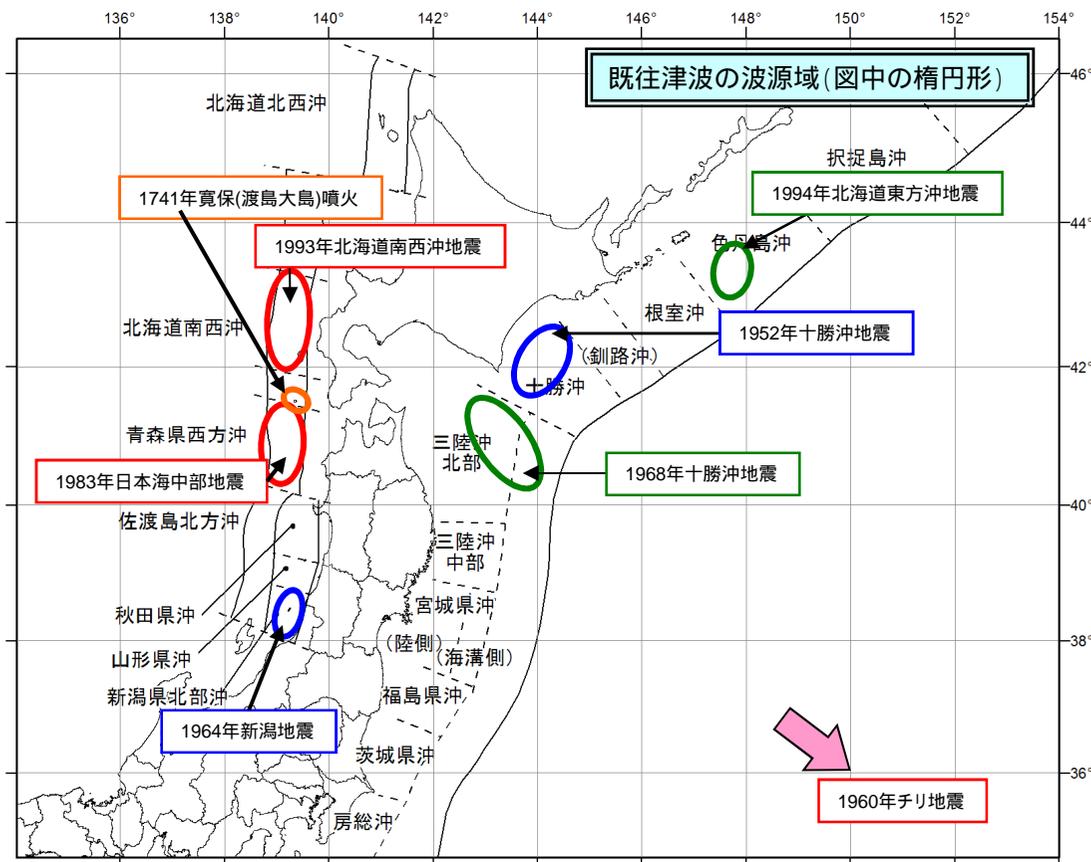
出典: 中央防災会議日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会資料

: 津波痕跡データベース(東北大学災害科学国際研究所及び原子力安全機構)

: 津波の辞典(2007、首藤ほか)

# 過去に陸奥湾沿岸に襲来した記録等がある既往津波

発生年	地震名	M	痕跡高(青森県)
1741	寛保(渡島大島)噴火		2.0m(青森)
1952	十勝沖地震	8.2	0.4m(青森)
1960	チリ地震	9.5	2.1m(むつ)、2.0m(野辺地)、1.5m(青森)
1964	新潟地震	7.6	0.8m(青森)
1968	十勝沖地震	7.9	0.8m(むつ)、0.7m(外ヶ浜)
1983	日本海中部地震	7.7	1.4m(佐井)
1993	北海道南西沖地震	7.8	0.9m(大間)
1994	北海道東方沖地震	8.1	0.2m(むつ)、0.2m(青森)



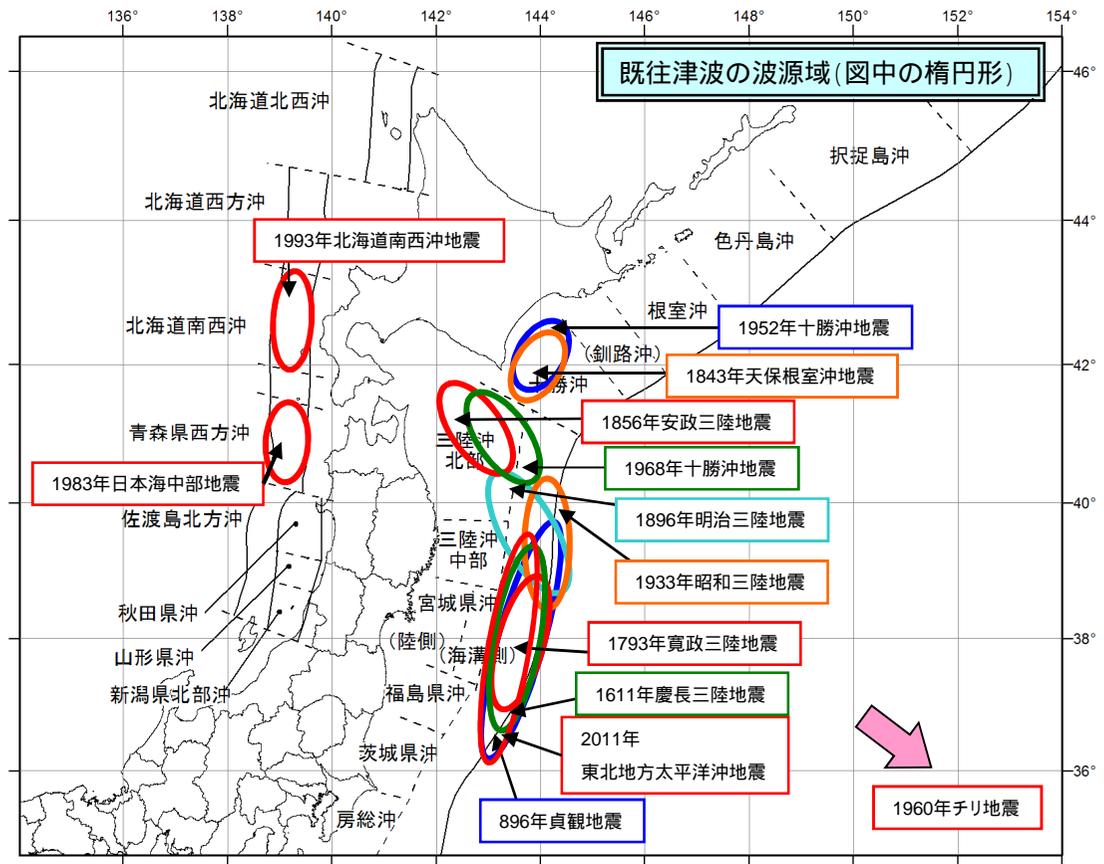
出典: 中央防災会議日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会資料

: 津波痕跡データベース(東北大学災害科学国際研究所及び原子力安全機構)

: 津波の辞典(2007、首藤ほか)

# 過去に下北八戸沿岸に襲来した記録等がある既往津波

発生年	地震名	M	痕跡高(青森県)
869	貞観地震	8.2	
1611	慶長三陸地震	8.1	
1793	寛政三陸地震	8.2	2.0m(八戸)
1843	天保根室沖地震	7.5	3.0m(八戸)
1856	安政三陸地震	7.5	4.0m(八戸)
1896	明治三陸地震	8.6	6.1m(階上)、3.1m(八戸)
1933	昭和三陸地震	8.1	6.0m(階上)、5.0m(おいらせ)
1952	十勝沖地震	8.2	
1960	チリ地震	9.5	6.3m(階上)、5.8m(八戸)
1968	十勝沖地震	7.9	6.5m(八戸)、5.1m(三沢)
1983	日本海中部地震	7.7	1.4m(佐井)
1993	北海道南西沖地震	7.8	0.9m(大間)
2011	東北地方太平洋沖地震	9.0	10.8m(八戸、おいらせ)、10.7m(階上)



出典: 中央防災会議日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会資料

: 津波痕跡データベース(東北大学災害科学国際研究所及び原子力安全機構)

: 津波の辞典(2007、首藤ほか)

: 東北地方太平洋沖地震の地震規模9.0はモーメントマグニチュードで表記している。

# 「日本海における大規模地震に関する調査検討会」による津波断層モデル

「日本海における大規模地震に関する調査検討会」が設定した津波断層モデルのうち、青森県に最大クラスの津波をもたらすと想定されるものとして、下記の4断層10ケースを選定。

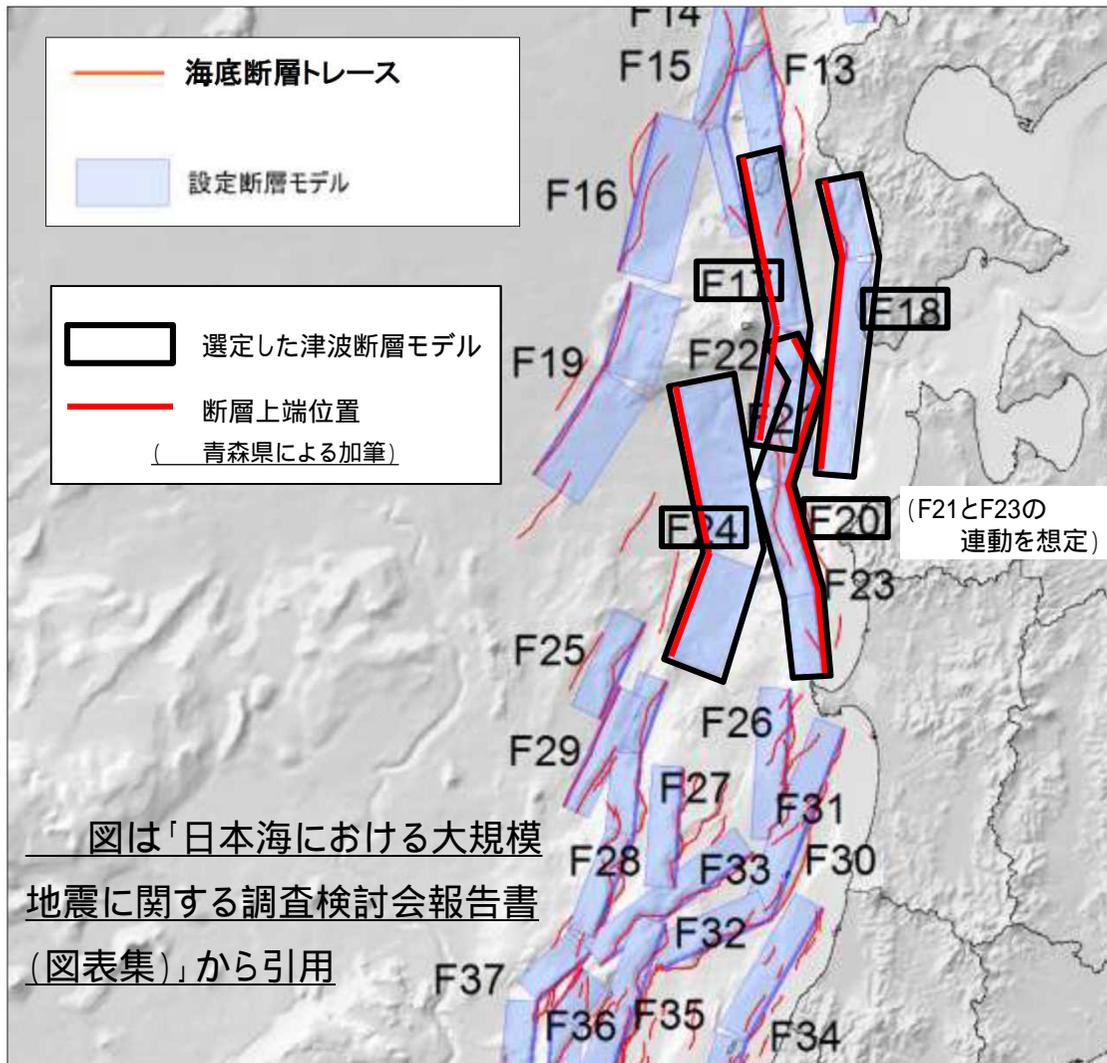


図:津波浸水想定の対象として選定した「日本海における大規模地震に関する調査検討会」の断層モデルの位置 [F17,F18,F20,F24]

津波断層モデル	F17	F18
マグニチュード	Mw=7.8	Mw=7.7
対象ケース	・左側 ・隣接LRR	・右側 ・隣接LRR
	(2ケース)	(2ケース)

津波断層モデル	F20	F24
マグニチュード	Mw=7.8	Mw=7.9
対象ケース	・中央 ・左側 ・隣接LLRR ・隣接LRLR ・隣接LRRR	・隣接LLLR  (1ケース)
	(5ケース)	

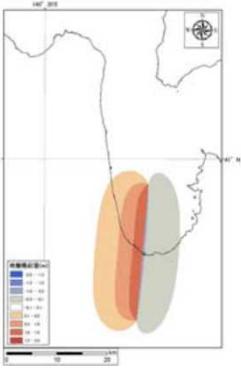
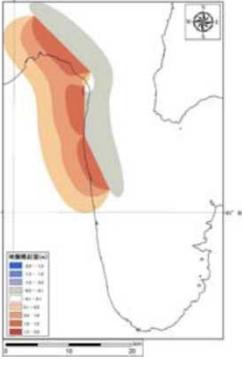
表:津波浸水想定の対象として選定した津波断層モデル・ケース

# 青森県独自の新たな想定津波について

最大クラスの津波をもたらすと想定される地震として、下記の4つを想定。

対象津波	H24青森県日本海側想定地震津波	H24青森県太平洋側想定地震津波
マグニチュード	Mw = 7.9	Mw = 9.0
使用モデル	H24青森県日本海側独自断層モデル	H24青森県太平洋側独自断層モデル
説明	地震調査研究推進本部地震調査委員会「日本海東縁部の地震活動の長期評価」(平成15年6月20日)を基にした想定地震。	中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」で平成17年6月22日に検討された「三陸沖北部の地震」と「明治三陸タイプ地震」を網羅する津波断層領域を想定した地震。 〔社会資本整備審議会河川分科会(第48回、平成24年10月開催)において審議済みのモデル〕
概要	震源域 地盤変動量	震源域 地盤変動量
震源域と地盤変動量		

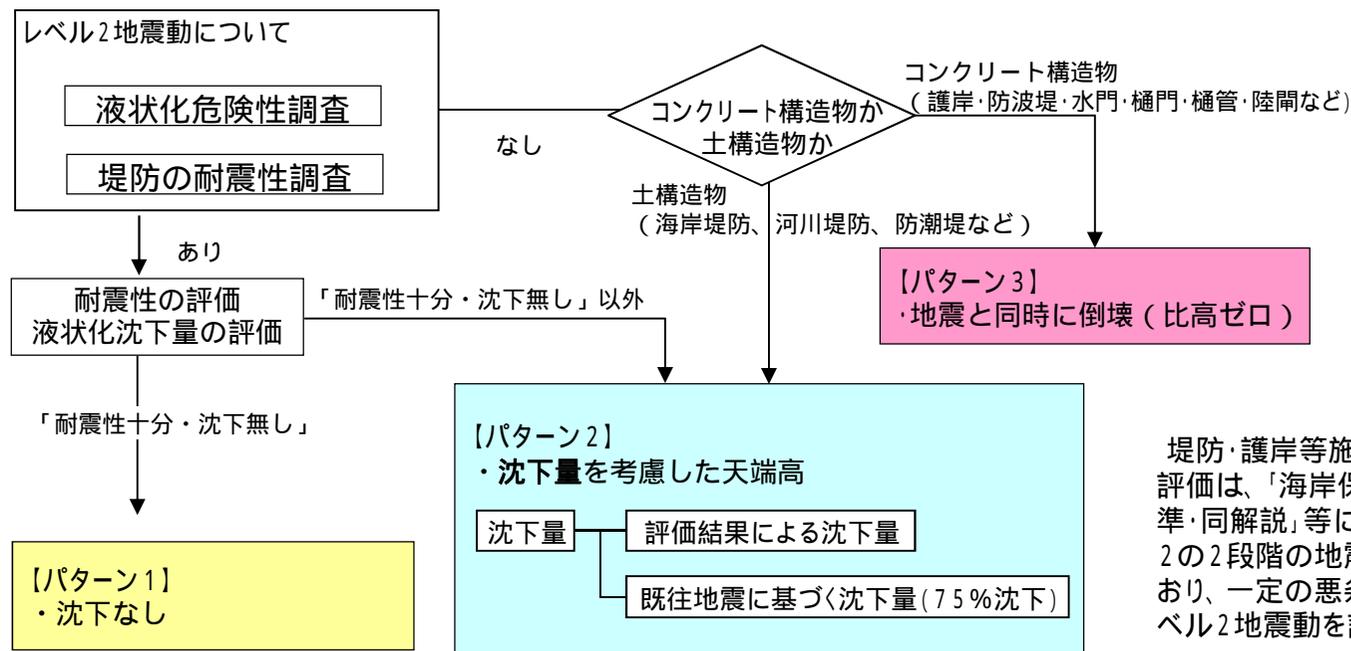
# 青森県独自の新たな想定津波について

対象津波	H24青森県青森湾西岸断層帯(入内断層)想定地震津波	H24 青森県平館断層想定地震津波
マグニチュード	Mw = 6.7	Mw = 6.8
使用モデル	H24 青森県青森湾西岸断層帯(入内断層)独自断層モデル	H24 青森県平館断層独自断層モデル
説明	産業技術総合研究所による平成21年の調査結果報告を基にした想定地震。 〔 社会資本整備審議会河川分科会(第49回、平成25年4月開催)において審議済みのモデル 〕	産業技術総合研究所による平成24年の調査結果報告を基にした想定地震。 〔 同左 〕
概要	震源域  地盤変動量 	震源域  地盤変動量 
	震源域と地盤変動量	

# 各種計算条件について(概要)

- 潮位については、「朔望平均満潮位」を設定( T.P.+0.477m ~ T.P.+0.675m )
- 地盤の沈下は地震発生時の海底地盤変量に伴う沈下を考慮
- 地震動については、下表及びフローのとおり、各種施設の技術的評価結果に基づき判定
- 津波の越流については、越流と同時に各種施設とも「破壊」(比高ゼロ)

耐震性や液状化に対する技術的評価結果がある場合	<p>【パターン1】「耐震性が十分・沈下無し」との評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種施設の沈下なし</li> </ul> <p>【パターン2】「耐震性が十分・沈下無し」以外の評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価結果による沈下量を考慮</li> </ul>
耐震性や液状化に対する技術的評価結果がない場合	<p>【パターン2】土構造物(海岸堤防、河川堤防等)の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 堤防等の比高を75%沈下(25%の比高が残る)</li> </ul> <p>【パターン3】コンクリート構造物(護岸、防波堤等)の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 倒壊(比高ゼロ)</li> </ul>



# 設定した津波浸水想定の項目について

## 基本事項

### 浸水域

海岸線から陸域に津波が遡上した外縁までの範囲

### 浸水深

陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの  
地面から水面までの高さ

## 参考事項

### 津波の水位

津波襲来時の海岸線での海面高さを標高で表示

## 影響開始時間

津波が沿岸に到達し、初期水位から  $\pm 20\text{cm}$  (海辺に  
いる人々の人命に影響が出る恐れのある水位変  
化) の変化が生じるまでの時間

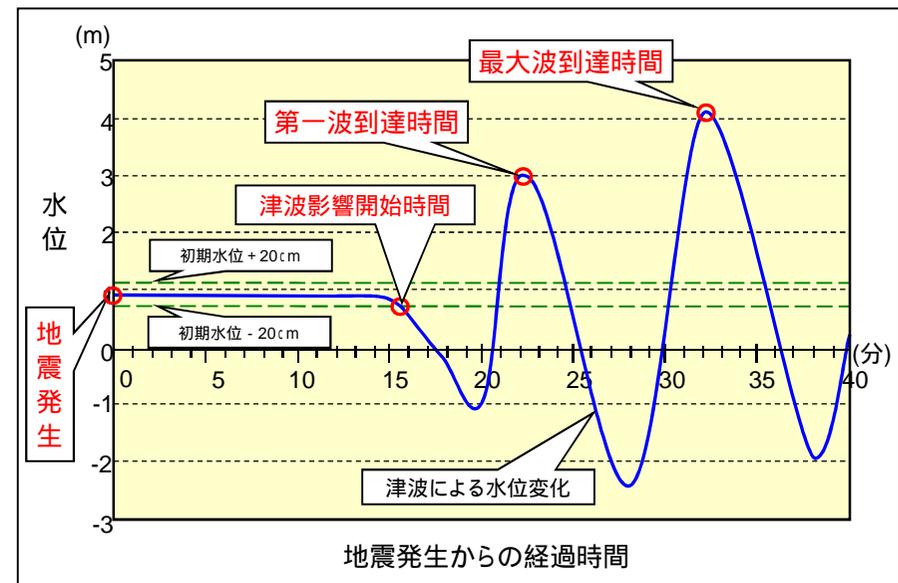
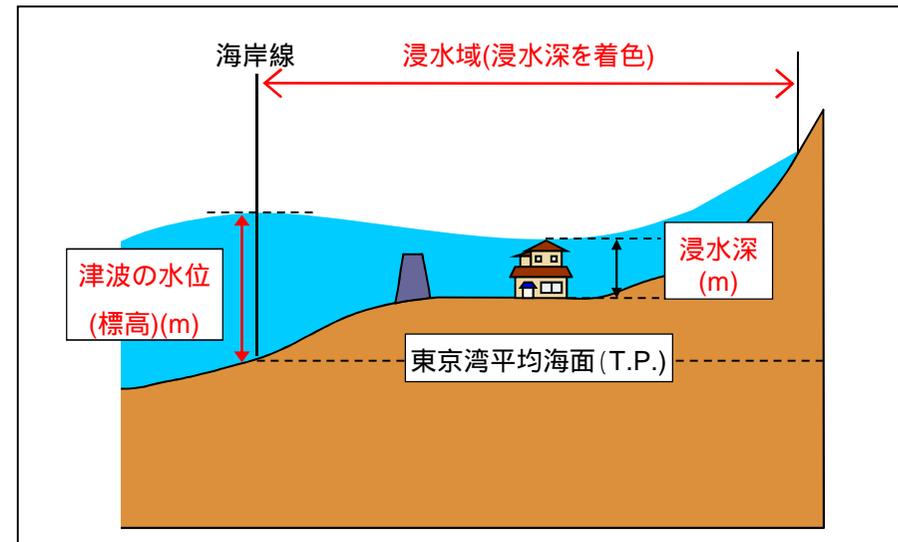
## 第一波到達時間

代表地点 において第一波の最大水位が生じるま  
での時間

## 最大波到達時間

代表地点 において津波の最大水位が生じるま  
での時間

各市町村の沿岸に面する市街地等の海岸線から100m ~  
500m程度沖合に設定



# 計算結果について

## 基本事項

浸水域、浸水深：津波浸水想定図のとおり

## 参考事項

津波の水位、影響開始時間等(第一波到達時間、最大波到達時間については、津波浸水想定図に表示)

地域海岸名	津波の水位 (T.P.m)	影響開始時間 (分)	最大津波到達時間 (分)
下北西地域海岸	1.5 ~ 5.5	9	11
陸奥湾北地域海岸	1.3 ~ 3.1	8	13
陸奥湾東地域海岸	1.5 ~ 1.8	60	174
陸奥湾南東地域海岸	1.2 ~ 1.9	19	179
陸奥湾南西地域海岸	1.1 ~ 3.7	0 <sup>3</sup>	9
陸奥湾西地域海岸	1.4 ~ 2.4	0 <sup>3</sup>	2
奥津軽地域海岸	1.6 ~ 5.4	19	46
竜泊地域海岸	4.4 ~ 22.6	12	22
七里長浜地域海岸	3.3 ~ 12.0	12	21
西津軽地域海岸	4.1 ~ 21.4	3	11
白神地域海岸	4.6 ~ 13.6	5	11

- 1 この結果は、現在の知見を基に津波の計算を行ったものであり、想定より大きな津波が襲来し、津波の水位が大きくなったり、影響開始時間が早くなったりする可能性がある。
- 2 影響開始時間は、各地域海岸の代表地点の中から最短の時間を表示。
- 3 H24 青森県青森湾西岸断層帯(入内断層)独自断層モデルの直近の代表地点の値であり、地震発生直後に津波の水位が上昇すると想定されたため。

# 設定した津波浸水想定を活用した取り組みについて

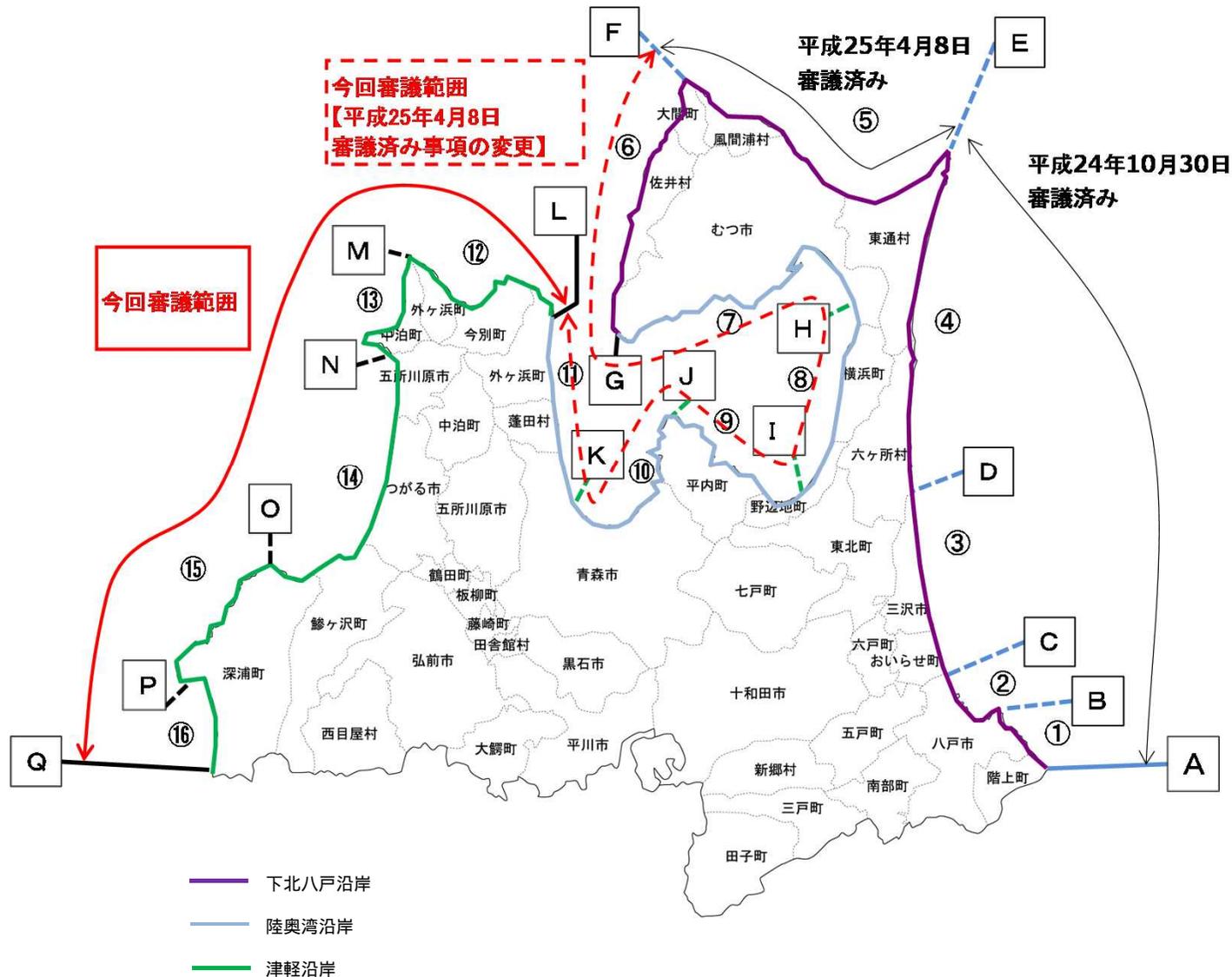
- 市町村が津波浸水想定を基に避難場所や避難経路等の津波避難計画を今後策定。
- 上記津波避難計画に基づき市町村が津波ハザードマップを作成（平成27年から順次公表予定）。
- 「津波防災地域づくりに関する青森県担当者会議」を開催するなど市町村が推進計画の作成を円滑に行えるよう、国と県、市町村との連絡・協議体制の確立を進めている。
- 推進計画の作成や津波災害警戒区域の指定については、市町村や関係機関と協議を密に行って検討していく。



担当者会議開催状況  
(平成26年9月12日)

# 参 考 资 料

# 地域海岸の区分



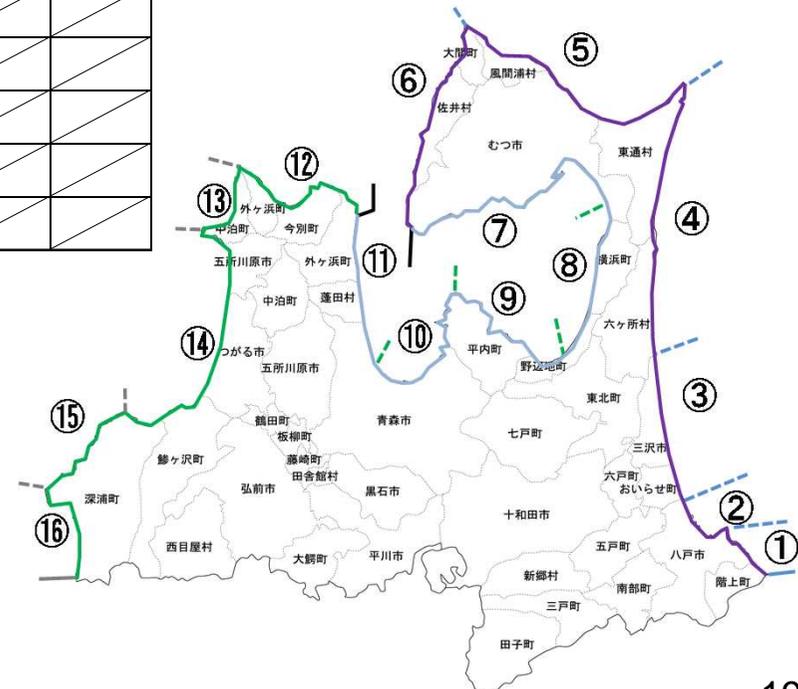
沿岸名	区分理由	
下北八戸沿岸	A	県境
	B	岬状の小船渡平を境に区分
	C	岬状の八戸港防波堤を境に区分
	D	実績津波高とシミュレーションによる津波高とによる津波特性により区分
	E	岬状の尻屋崎を境に区分
	F	岬状の大間崎を境に区分
陸奥湾沿岸	G	沿岸境
	H	湾内方向により区分
	I	湾内方向により区分
	J	岬状の夏泊崎を境に区分
	K	湾内方向により区分
	L	沿岸境
	M	岬状の竜飛崎を境に区分
津軽沿岸	N	シミュレーションによる津波高により区分
	O	岬状の弁天崎を境に区分
	P	シミュレーションによる津波高により区分
	Q	県境

# 最大クラスの津波の対象津波群

海岸線における津波の高さ(単位:T.P.+m)

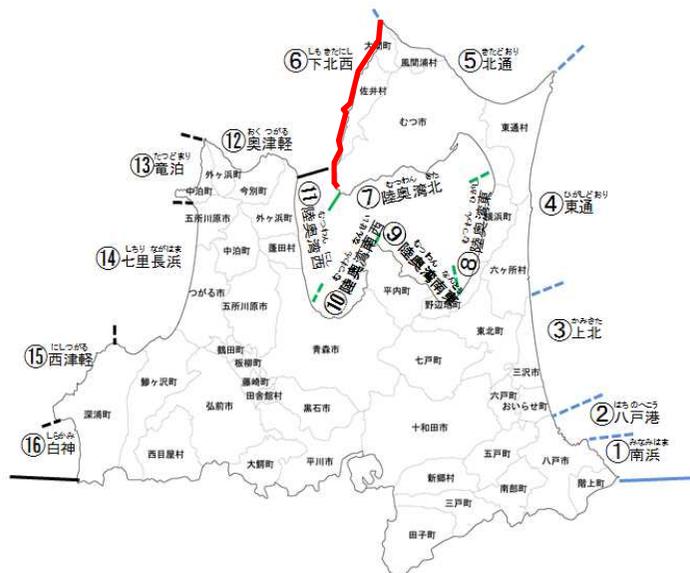
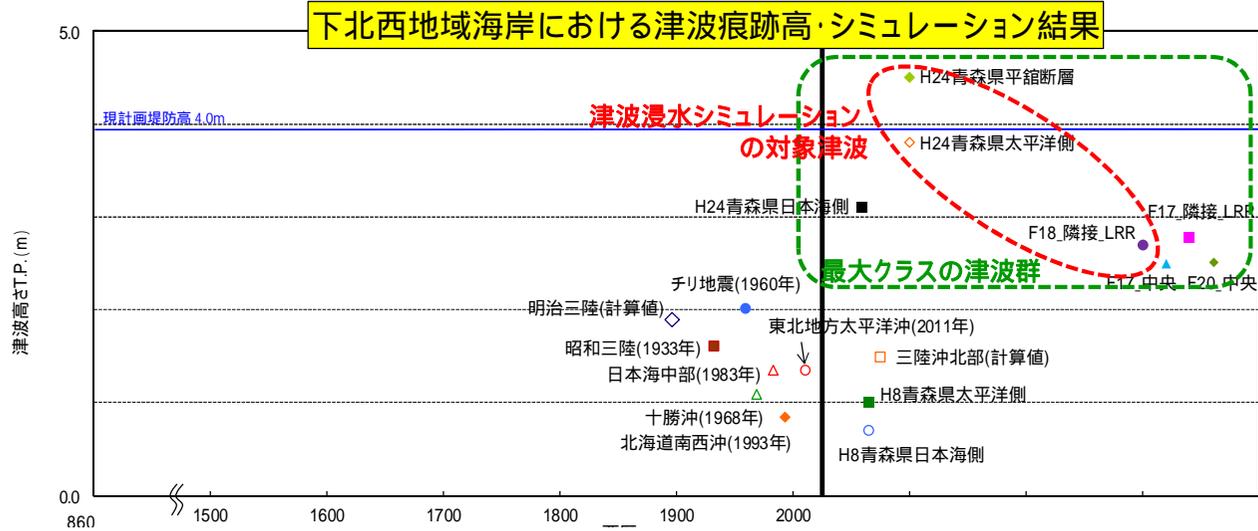
地域海岸名	海岸名	最大クラスの津波の対象群							
		F17 想定地震	F18 想定地震	F20 想定地震	F24 想定地震	H24青森県 日本海側 想定地震	H24青森県 太平洋側 想定地震	H24青森県 西岸断層帯 (入内断層) 想定地震	H24青森県 平館断層 想定地震
下北西 地域海岸	下手地海岸 ~ むつ天然海岸1 (国有林)	/	2.7	/	/	/	3.8	/	4.5
陸奥湾北 地域海岸	九艘泊漁港海岸 ~ 浜奥内漁港海岸	/	1.7	/	/	/	2.1	1.7	3.5
陸奥湾東 地域海岸	中野沢地区 一般公共海岸 ~ 木明海岸(1)	/	/	/	/	/	1.7	/	/
陸奥湾南東 地域海岸	野辺地港海岸(2) ~ 東田沢海岸	/	1.8	/	/	/	1.7	/	1.6
陸奥湾南西 地域海岸	久慈ノ浜海岸 ~ 青森港海岸(1)	/	1.9	/	/	1.6	2.2	3.8	/
陸奥湾西 地域海岸	西田沢 ~ 石浜 ~ 瀬戸子海岸 ~ 根岸海岸1	/	2.1	/	/	1.8	2.0	2.2	2.0
奥津軽 地域海岸	平館漁港海岸 ~ 竜飛漁港海岸(2)	3.9	/	5.3	/	3.8	3.3	/	/
竜泊 地域海岸	竜飛漁港海岸(1) ~ 小泊漁港海岸(1)	/	/	16.9	/	11.5	/	/	/
七里長浜 地域海岸	折戸・脇元海岸 ~ 北金ヶ沢漁港海岸	/	9.6	10.9	11.1	7.6	/	/	/
西津軽 地域海岸	北金ヶ沢海岸 ~ 田茂木平地区 一般公共海岸	/	/	17.1	13.8	10.2	/	/	/
白神 地域海岸	岩崎漁港海岸 ~ 寛(その1)地区 一般公共海岸	/	/	11.4	9.9	9.4	/	/	/

対象津波群の中から最大クラスの津波を選定



# 最大クラスの津波の対象群の選定 ( 下北西地域海岸 )

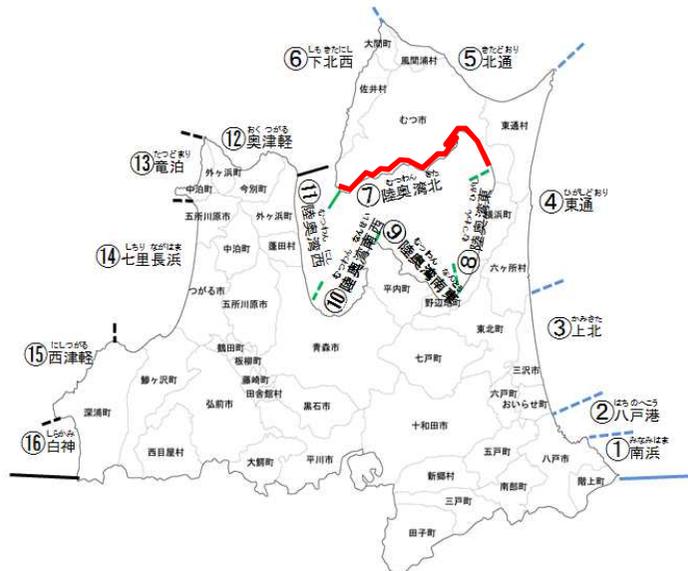
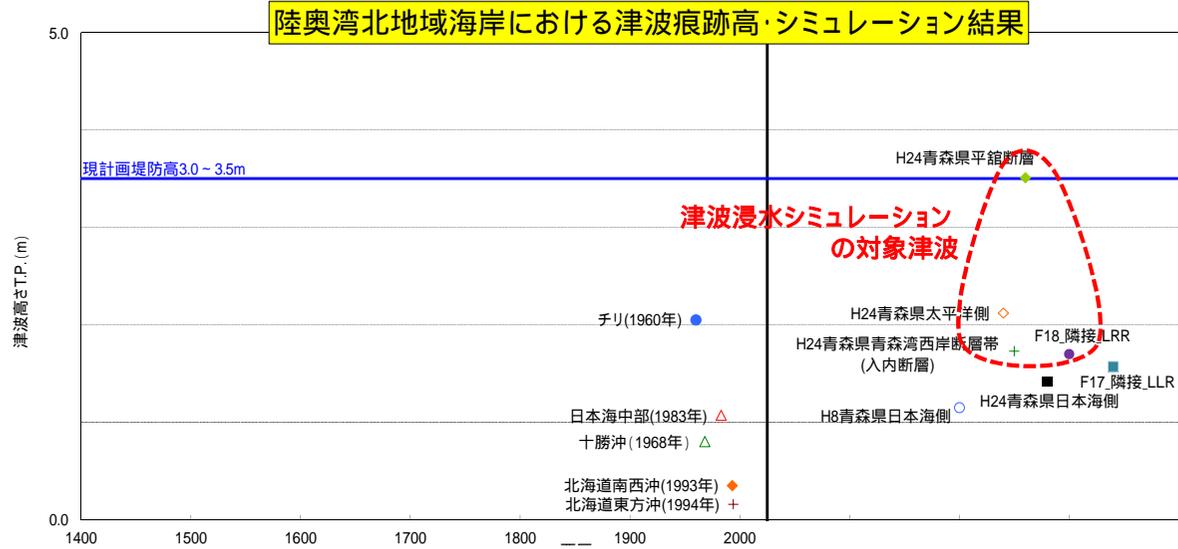
しもきたにし おおままち おおま わきのさわ  
 下北西地域海岸 (大間町大間～むつ市脇野沢)



想定津波(計算値)の潮位条件 : T.P.+0.575m

# 最大クラスの津波の対象群の選定 ( 陸奥湾北地域海岸 )

むつわんきた                      わきのさわ                      おくない  
 陸奥湾北地域海岸 (むつ市脇野沢～むつ市奥内)



想定津波(計算値)の潮位条件 : T.P.+0.675m

# 最大クラスの津波の対象群の選定 ( 陸奥湾東地域海岸 )

むつわんひがし

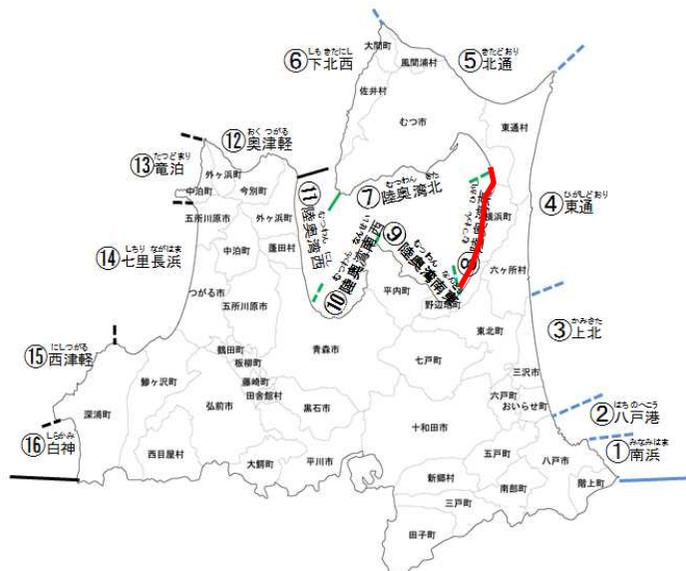
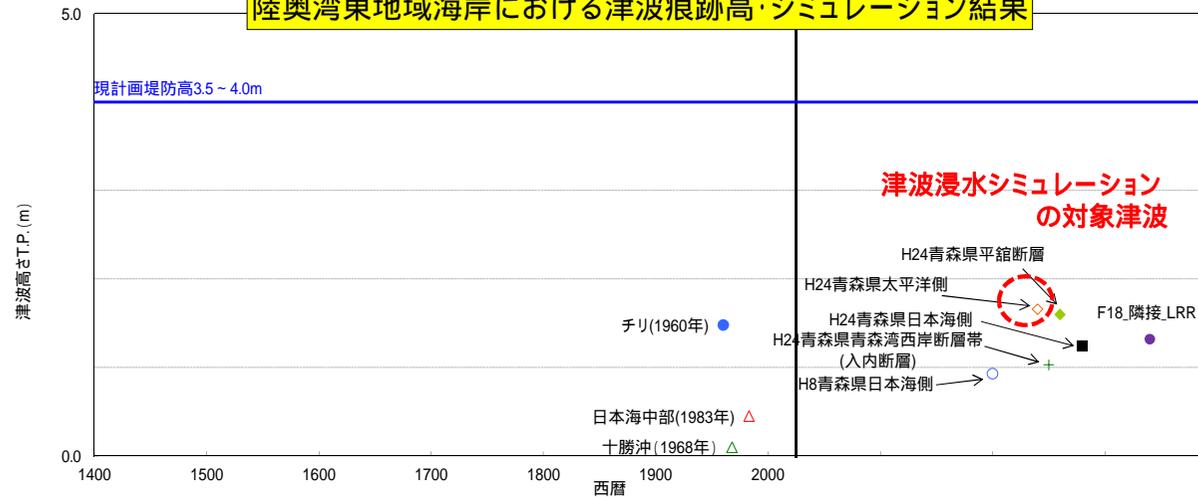
おくない

のへじまち

きみょう

## 陸奥湾東地域海岸 (むつ市奥内～野辺地町木明)

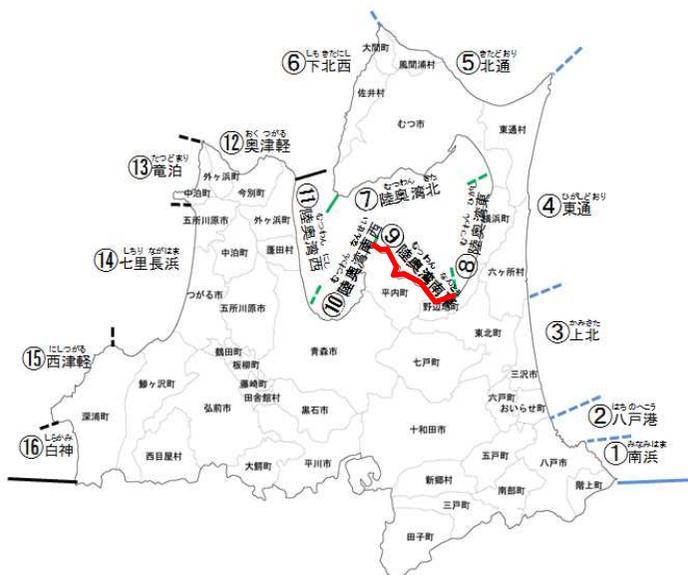
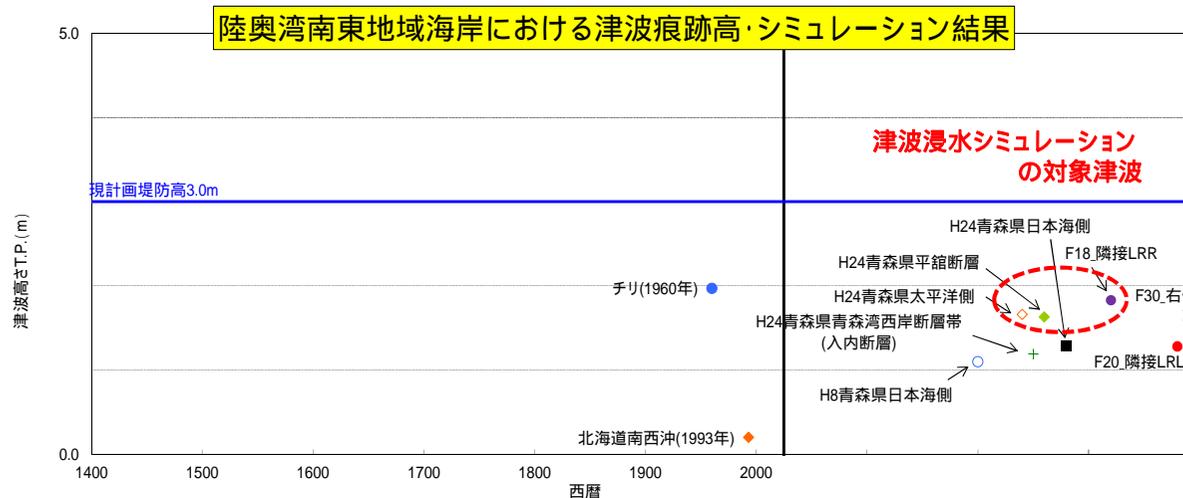
陸奥湾東地域海岸における津波痕跡高・シミュレーション結果



想定津波 (計算値) の潮位条件 : T.P.+0.675m

# 最大クラスの津波の対象群の選定 ( 陸奥湾南東地域海岸 )

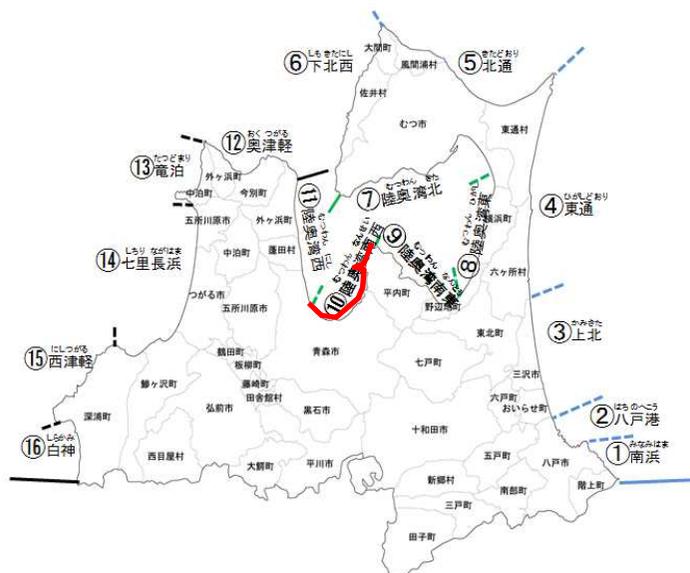
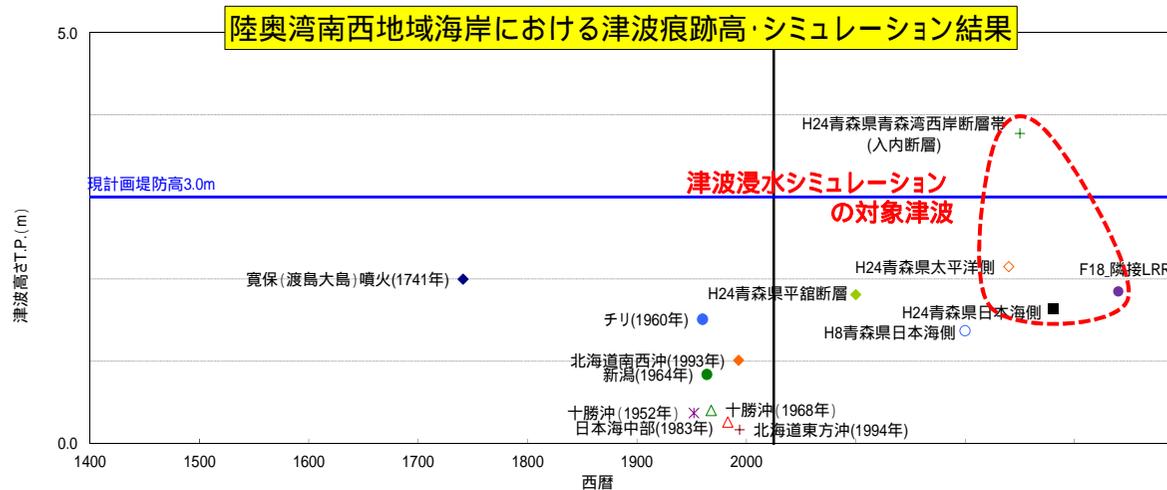
むつわんなんとう のへじまち たなぶみち ひらないまち ひがしたざわ  
 陸奥湾南東地域海岸 (野辺地町田名部道 ~ 平内町東田沢)



想定津波(計算値)の潮位条件 : T.P.+0.675m

# 最大クラスの津波の対象群の選定 ( 陸奥湾南西地域海岸 )

むつわんなんせい ひらないまち ひがしたざわ あおもりし あぶらかわ  
 陸奥湾南西地域海岸 (平内町東田沢 ~ 青森市油川)



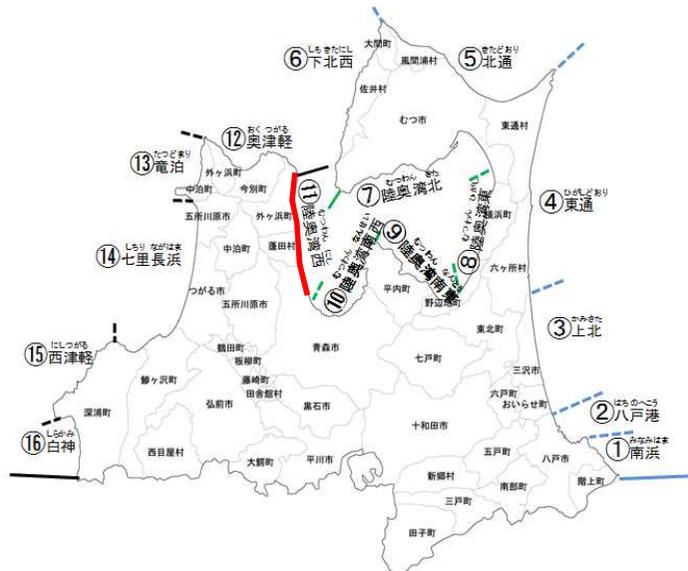
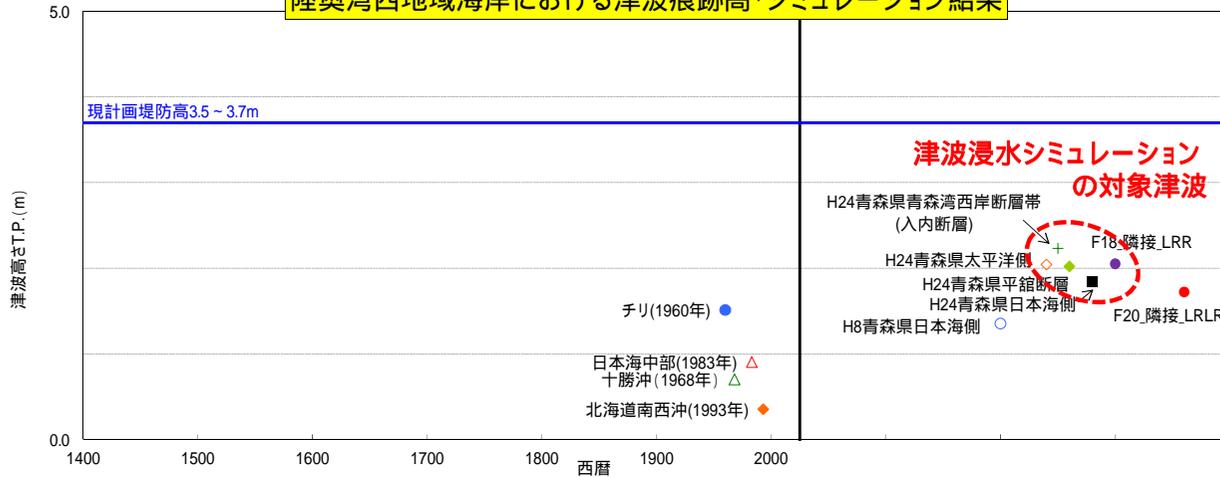
想定津波 (計算値) の潮位条件 : T.P.+0.593m

# 最大クラスの津波の対象群の選定 ( 陸奥湾西地域海岸 )

むつわにし あおもりし にしたざわ そとがはままち たいらだて

## 陸奥湾西地域海岸 ( 青森市西田沢 ~ 外ヶ浜町平館 )

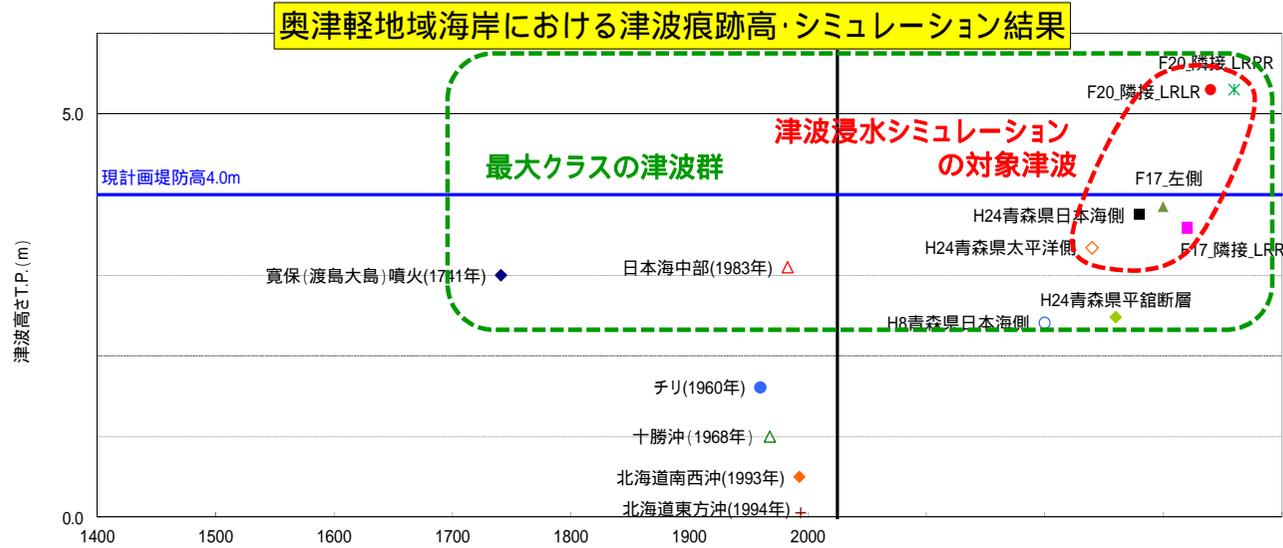
陸奥湾西地域海岸における津波痕跡高・シミュレーション結果



想定津波 ( 計算値 ) の潮位条件 : T.P.+0.636m

# 最大クラスの津波の対象群の選定 ( 奥津軽地域海岸 )

おくつがる そとがはままち たいらだて そとがはままち みんなや  
**奥津軽地域海岸 ( 外ヶ浜町平館 ~ 外ヶ浜町三厩 )**



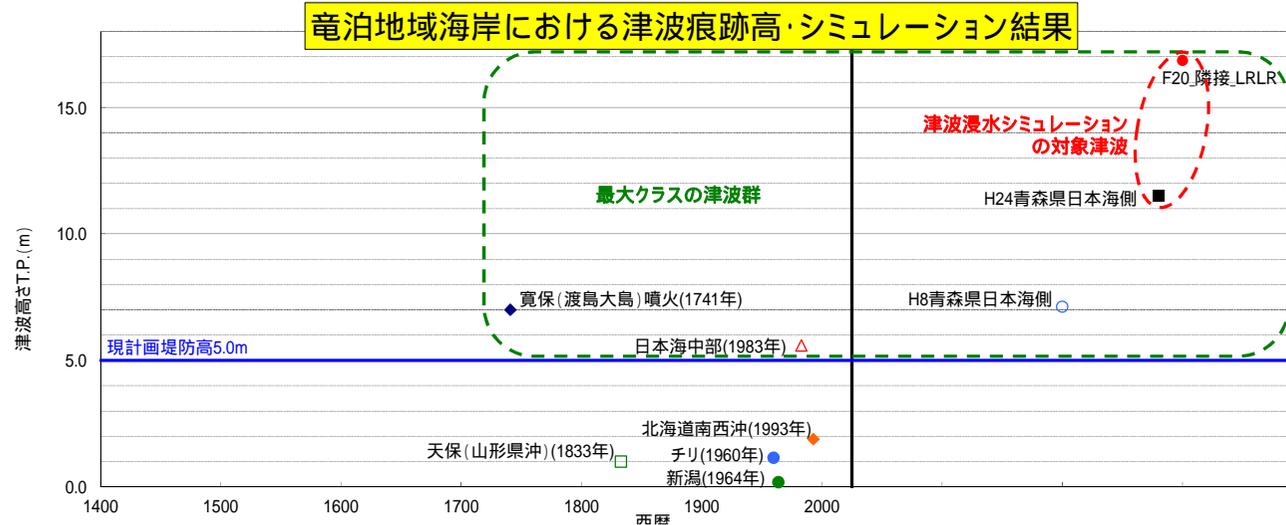
想定津波(計算値)の潮位条件 : T.P.+0.485m

# 最大クラスの津波の対象群の選定 ( 竜泊地域海岸 )

たつどまり

そとがはままち みんなや なかどまりまち こどまりおりと

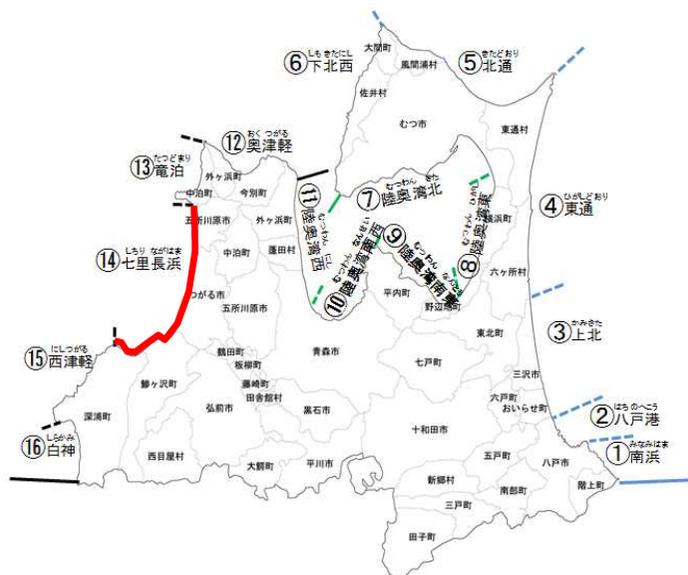
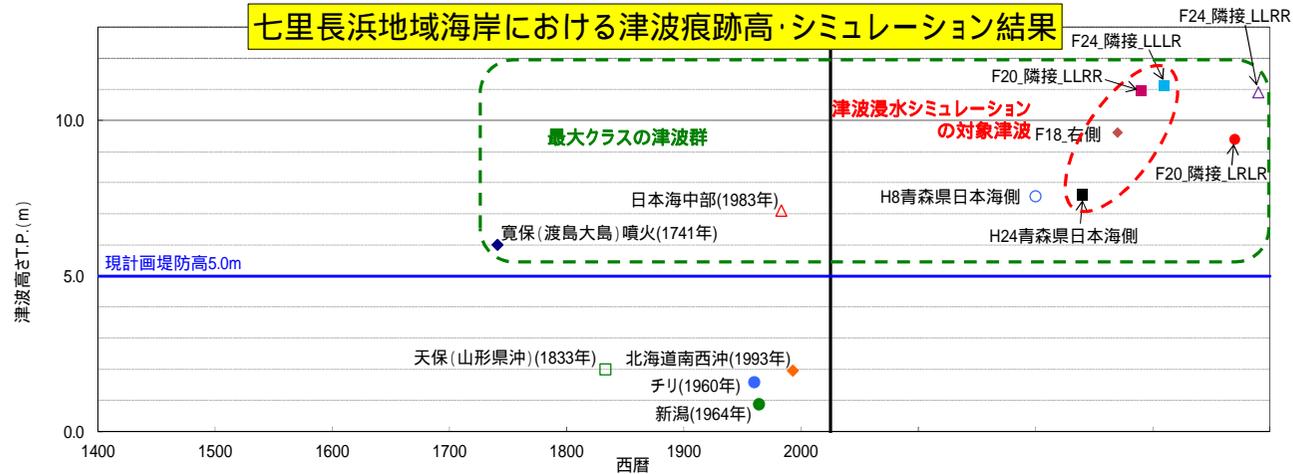
## 竜泊地域海岸 (外ヶ浜町三厩 ~ 中泊町 小泊折戸)



想定津波(計算値)の潮位条件 : T.P.+0.577m

# 最大クラスの津波の対象群の選定 ( 七里長浜地域海岸 )

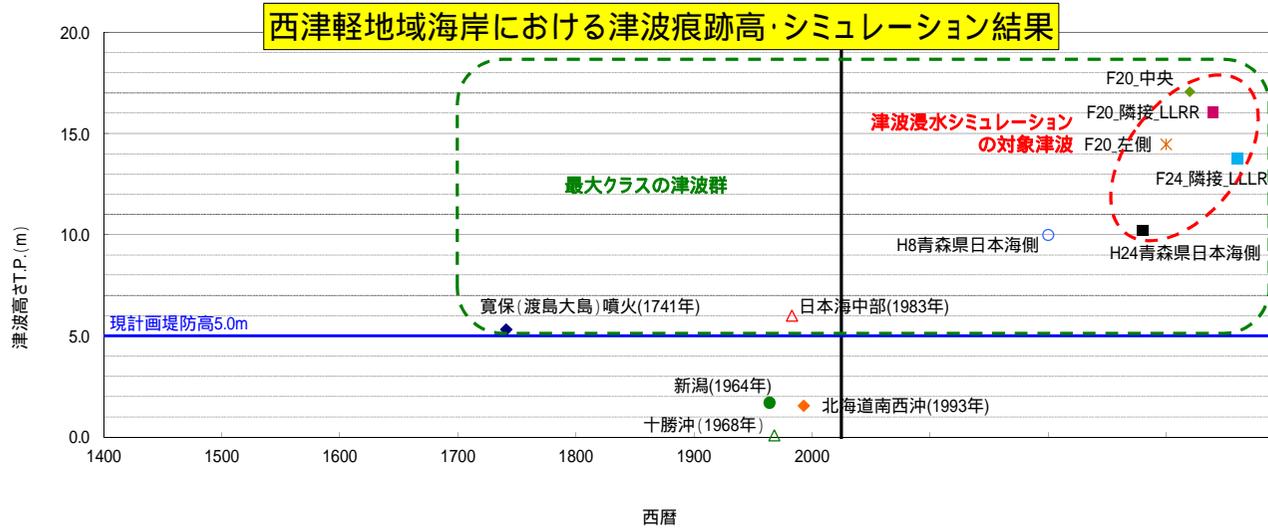
しちりながはま      なかどまりまち   ことまりおりと      ふかうらまち   きたかねがさわ  
 七里長浜地域海岸 ( 中泊町 小泊折戸 ~ 深浦町 北金ヶ沢 )



想定津波 (計算値) の潮位条件 : T.P.+0.522m

# 最大クラスの津波の対象群の選定 (西津軽地域海岸)

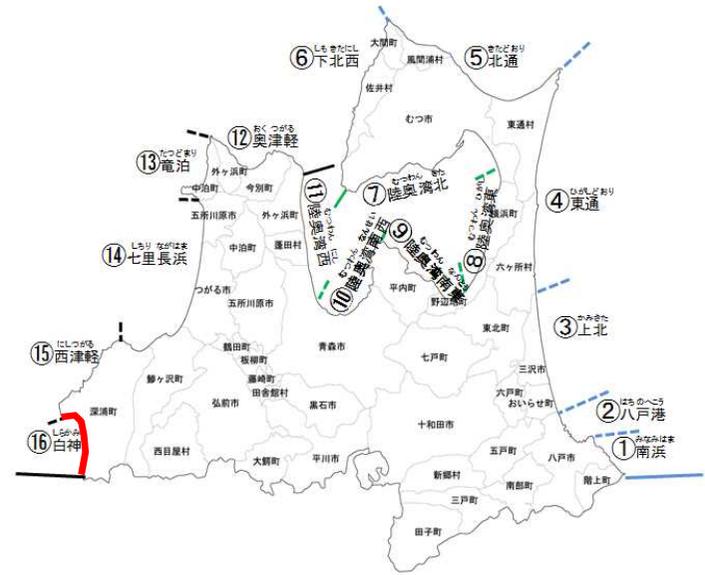
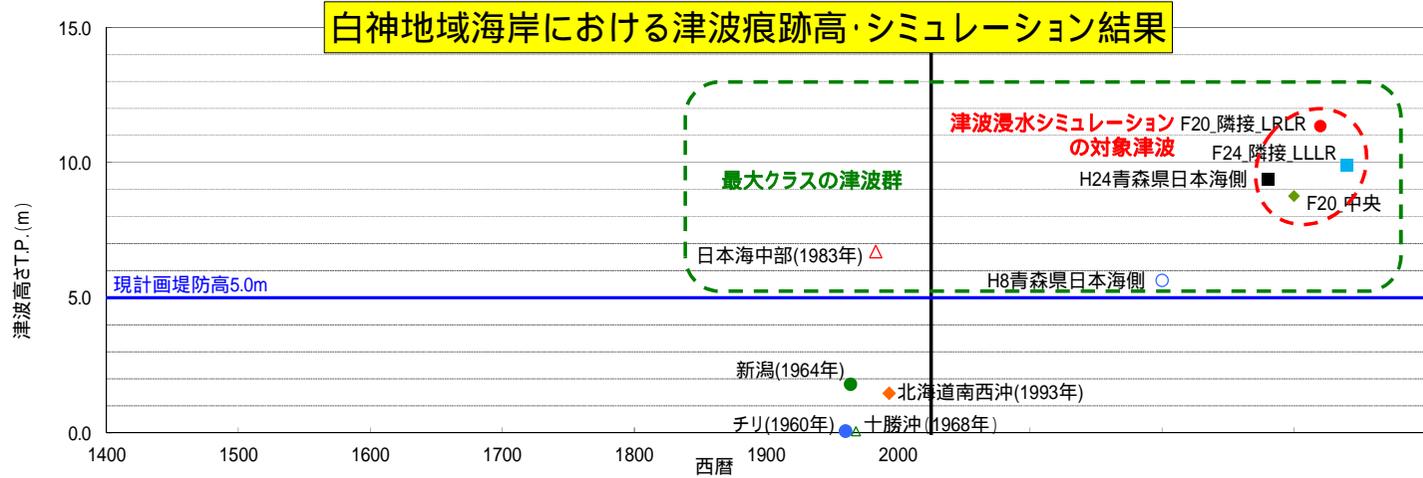
にしつがる ふかうらまち きたかねがさわ ふかうらまち さわべ  
**西津軽地域海岸 (深浦町 北金ヶ沢 ~ 深浦町 沢辺)**



想定津波(計算値)の潮位条件 : T.P.+0.477m

# 最大クラスの津波の対象群の選定 ( 白神地域海岸 )

しらかみ                      ふうらまち さわべ                      あきたけんきょう  
**白神地域海岸 ( 深浦町 沢辺 ~ 秋田県境 )**

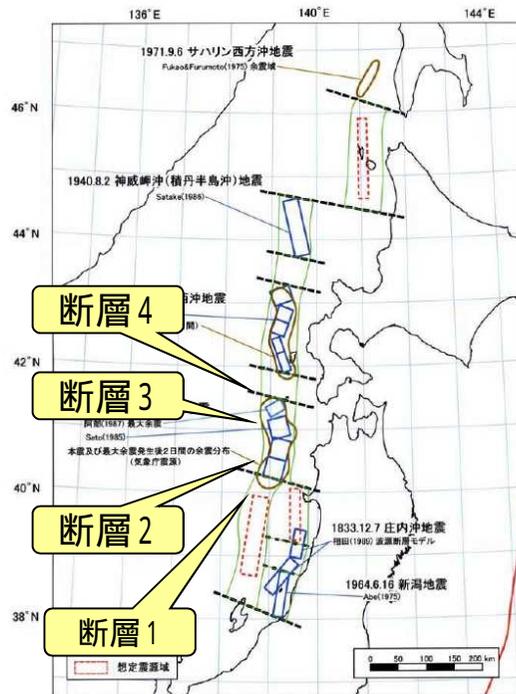


想定津波 ( 計算値 ) の潮位条件 : T.P.+0.480m

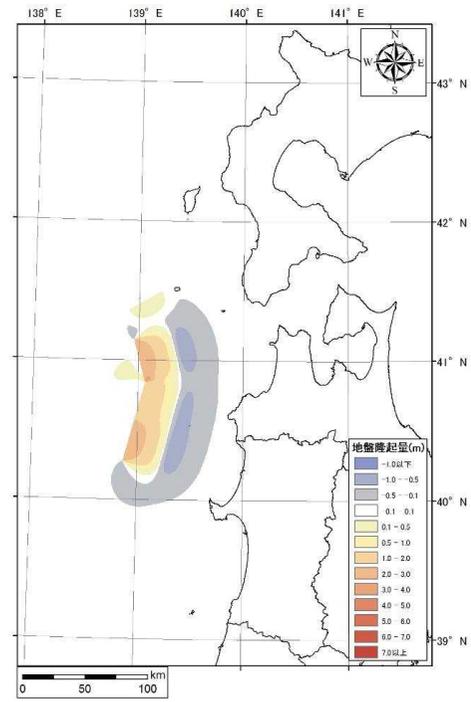
# 青森県独自の新たな想定津波について[日本海側] (補足)

- 地震調査研究推進本部が青森県西方沖の震源断層として想定したSato(1985)と阿部(1987)の地震断層モデルを基本に検討 **Mw7.94**

青森県西方沖想定地震モデル  
[Sato(1985)、阿部(1987)]の波源位置図



青森県西方沖想定地震モデル  
[Sato(1985)、阿部(1987)]の地盤変動量



断層モデルの 出典先	断層	断層長	断層幅	断層深さ	走向	傾斜角	すべり角	すべり量
	No	(km)	(km)	(km)	(度)	(度)	(度)	D(m)
Sato(1985)	1	35	35	0	15.0	20	90.0	6.8
	2	35	35	0	15.0	20	90.0	4.6
	3	35	35	0	345.0	20	90.0	6.8
阿部(1987)	4	30	23	1	60.0	30	90.0	0.8

# 青森県独自の新たな想定津波について[日本海側] (補足)

- あらゆる可能性を考慮した最大クラスの津波を想定するという趣旨から、Satoのモデル(1985)と阿部のモデル(1987)を基本に、各小断層において傾斜角とすべり量の最大値を採用したモデルを検討した。

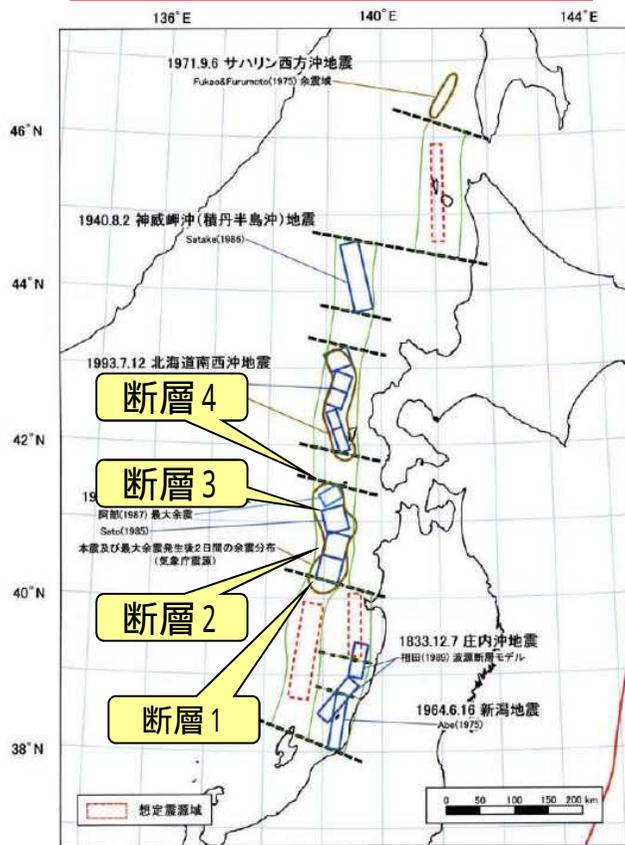
断層モデルの出典先	断層 No	断層長 (km)	断層幅 (km)	断層深さ (km)	走向 (度)	傾斜角 (度)	すべり角 (度)	すべり量 D(m)	剛性率 $\mu$	地震モーメント $M_0$	モーメントマグニチュード $M_w$
Sato(1985)	1	35	35	0	15.0	20	90.0	6.8	3.5E+10	8.00E+20	7.87
	2	35	35	0	15.0	20	90.0	4.6			
	3	35	35	0	345.0	20	90.0	6.8			
阿部(1987)	4	30	23	1	60.0	30	90.0	0.8			
青森県 (H24青森県日本 海側想定地震)	1	35	35	0	15.0	30	90.0	6.8	3.5E+10	1.04E+21	7.94
	2	35	35	0	15.0	30	90.0	6.8			
	3	35	35	0	345.0	30	90.0	6.8			
	4	30	23	1	60.0	30	90.0	6.8			

# 青森県独自の新たな想定津波について[日本海側] (補足)

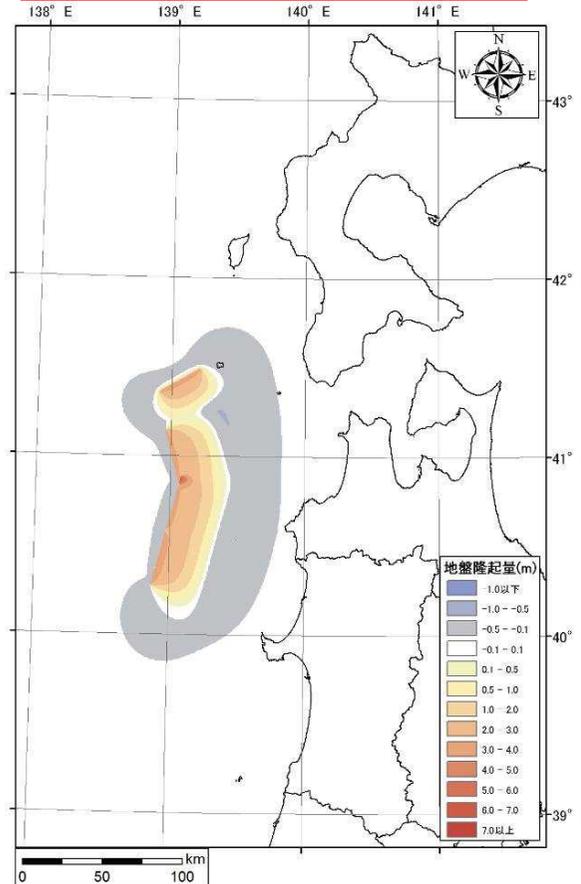
- 地震調査研究推進本部による長期評価を基に青森県で平成24年に検討した断層モデルについて

(青森県日本海側想定地震モデル[H24青森県]) **Mw7.94**

青森県日本海側想定地震モデル  
[H24青森県]の波源位置図



青森県日本海側想定地震モデル  
[H24青森県]の地盤変動量



地震モーメント

$$M_0 = \mu SD$$

$\mu$ : 地盤剛性率 ( $3.5 \times 10^{10} \text{ N/m}^2$ )  
 $S$ : 断層面積 ( $\text{m}^2$ )  
 $D$ : 断層すべり量 ( $\text{m}$ )

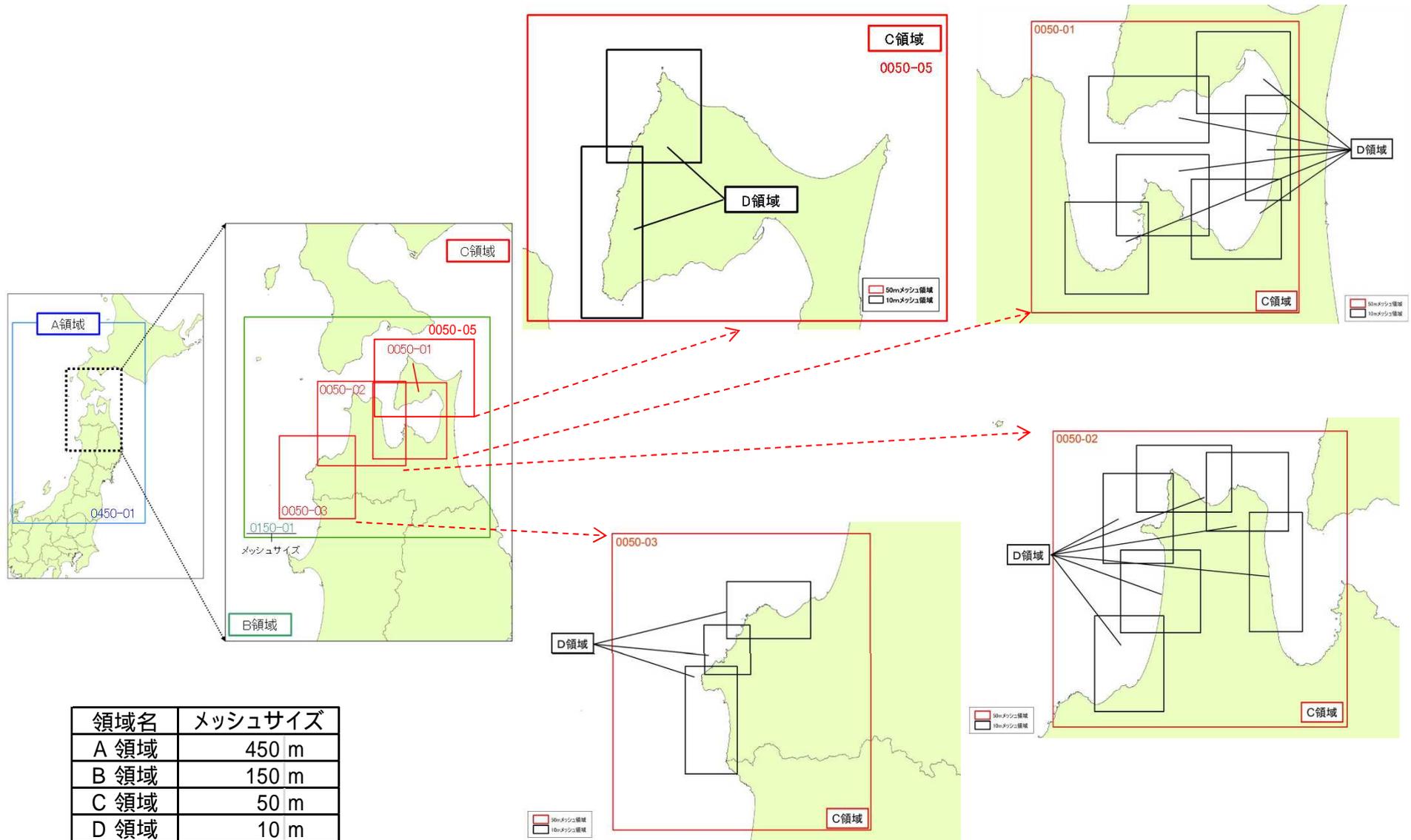
モーメントマグニチュード

$$M_w = \frac{\log M_0 - 9.1}{1.5}$$

# 各種計算条件について(詳細)

項目	内容
支配方程式と数値計算法	非線形長波方程式をLeap-Frog差分法を用いて近似(波源域から沿岸までの伝播や陸域への浸水)
計算時間と計算時間間隔	計算時間: 最大 8 時間 時間間隔: 0.1 秒(全ての計算領域で一定)
対象地形	被災前地形(東北地方太平洋沖地震による地盤沈下が発生しなかったため) (陸域) 基盤地図情報(国土地理院) (海域) 海図(海上保安庁)及び各管理者所有の深浅測量データ (県管理河川) 河川管理台帳図面のデータを活用 (国管理河川) 最新の測量結果を基に地形データを作成
粗度	航空写真を用いて土地利用状況を判別し、それに応じた係数を設定
先端条件 (陸域への浸水計算)	水深 $10^{-2}$ m

# 計算範囲・計算格子間隔



# 検討体制について

## 青森県海岸津波対策検討会

開催状況： これまで計7回開催

(平成24年2月、3月、8月、10月、平成25年1月、平成26年12月、平成27年3月)

	氏名	所 属 ・ 役 職
座長	佐々木 幹夫	八戸工業大学大学院 教授
委員	佐藤 魂夫	弘前大学 名誉教授 (第5回まではアドバイザー)
委員	松富 英夫	秋田大学大学院 教授
委員	南 将人	八戸工業高等専門学校 教授
委員	中村 賢	青森県総務部危機管理監
委員	成田 博	青森県農林水産部部長
委員	奈良 信秀	青森県県土整備部部長

学識者の委員の役職は、現在のものを記載。

行政機関の委員は、第7回当時で記載。

